

- 財政状況は急速に改善しています -

平成25年度決算での牧之原市の財政状況は、すべての指標で健全であるとの判断がされました。それぞれの指標を見てみましょう。

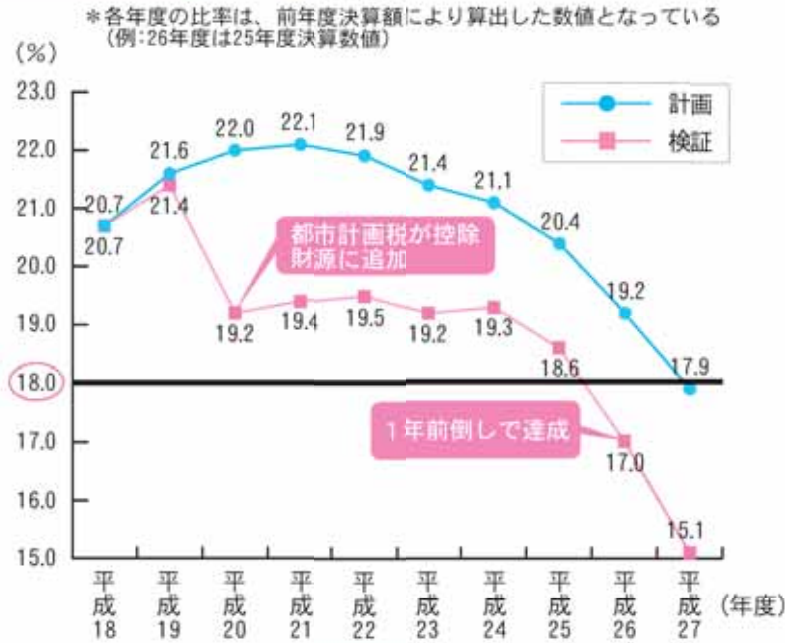
実質公債費比率

17.0%

1年前倒して健全化



市の借金の返済額の大きさを示す指標で、この比率が高いほど返済負担が重くなります。平成18年度に、10年間で、県の許可がなくても借金できる18%未満とする計画を立てましたが、1年前倒して達成できました。これは、国が補てんする有利な市債(借金)を選んで借り入れたこと、職員数の削減、補助金の見直しなどを通じて借入額を抑えてきたことが大きな要因です。県下で一番比率が高い状況ですが、それは都市計画税を21年度に廃止したためです。しかし、課税されていない分、他市町よりも税金が低いともいえます。今後も、実質公債費比率は減少していき、さらなる改善が進む見込みです。



将来負担比率

60.2%



借返済や将来も支払わなければならない負担金などの残高を指標化したものです。

実質赤字比率

赤字なし



普通会計(一般会計と土地取得特別会計の計)の赤字の程度を示す比率で、財政運営の悪化の度合いを示します。

資金不足比率

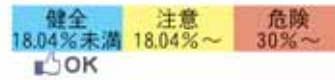
資金不足なし



事業会計の料金収入に対する資金不足(赤字額)の比率で、経営状況の深刻度を示します。

連結実質赤字比率

赤字なし



市のすべての会計を合計した収支の赤字比率です。

水道事業会計(企業会計)

区分	歳入	歳出
収益的収支	10億2,571万円	9億9,395万円
資本的収支	9,176万円	2億9,819万円

*収益的収支…水道事業を運営するための収支を表したもの
*資本的収支…配水池の建設や管路の整備など、資産の整備と企業債償還金などの支出、その財源となる収入の収支を表したもの

水道事業会計(企業会計)は、地方公営企業法に基づき設けた水道事業を行う特別会計で、民間企業と同様の経理や決算をしています。

特別会計

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	58億5,498万円	54億2,173万円
後期高齢者医療	4億1,013万円	4億990万円
介護保険	39億478万円	38億5,781万円
土地取得	5万円	5万円
農業集落排水事業	1,189万円	1,150万円

特別会計は、市が特定の事業を行うために、一般会計と区別して設けるもので、特別会計ごとに決算を行います。

平成25年度 決算報告

- 安全安心に暮らせるまちづくり -

防災公園の測量設計・地質調査業務の実施や津波避難タワーの計画策定、防災マップの作成着手、また、災害時の情報収集・伝達のための防災無線の整備をするなど、市民のみなさんが安全に安心して暮らせるように取り組みました。

問い合わせ 財政課 藤永 ☎0054

